

■研究集会報告■

令和元年度日本教育大学協会研究集会報告

令和元年度研究集会実行委員長

岡山大学教育学部副学部長 高瀬 淳

開催日 令和元年 10 月 5 日（土）

当番大学 岡山大学

会場 岡山大学教育学部講義棟

令和元年度日本教育大学協会研究集会は、岡山大学が当番大学となり、10月5日（土）、津島キャンパスにある教育学部を会場として開催されました。研究集会には、全国から大学教員、附属学校教員及び学生など計 329 名が参加し、これからの教員養成・教師教育を考えていく上で有意義な会となりました。

当日の研究集会のスケジュールと概要は、以下のとおりです。

I 全体会（9:30～12:00）

1 開会挨拶

開会にあたり、日本教育大学協会長の出口利定氏より、教員を取り巻く状況の急速な変化を踏まえ、各会員校が、それぞれの取組について情報交換・意見交換しながら、これからの教員養成・教師教育を進めていくことの必要性が示唆されました。これに続き、当番大学を代表して、岡山大学 企画・評価・総務担当理事の高橋香代氏より、これからの教員養成・教師教育に向けた教大協並びに研究集会への期待と来岡に対する歓迎のことばが述べられました。さらに、本研究集会実行委員長の高瀬淳と、来年度当番大学である愛媛大学の教育学部長の佐野栄氏より挨拶がありました。

2 招待講演

招待講演では、文部科学省 総合教育政策局 教育人材政策課 教員養成企画室長の高田行紀氏をお招きし、「教員の養成・採用・研修の一体改革と連動した大学改革の推進について」と題した講演が行われました。特に、有識者会議報告書（平成 29 年 8 月）に基づき、教員養成機能の強化や附属学校の機能強化・効率化など、教員の養成・採用・研修の一体改革と連動した教員養成大学・学部の改革の推進について、いわゆるグッドプラクティス Vol.2 に取り上げられた事例を用いながら具体的に説明されました。また、全国に設置された教職大学院の状況や Society5.0 の到来による教育現場の変化などがデータに基づいて提示されたうえで、教員養成部会において、教職課程の基準の在り方や教員養成を先導するフラッグシップ大学の創設が検討されていることなどが説明されました。

3 パネルディスカッション

パネルディスカッションでは、「教員の専門性・専門職性を育む教員養成教育の実現に向けて」とのテーマのもと、北海道教育大学の玉井康之氏、大阪教育大学の石川聡子氏、大分大学の田中修二氏をパネ

リストとして報告・検討が行われました。

本テーマは、昨年度の研究集会（奈良教育大学）で取り上げられた「教員養成学」の構築に向けた検討を引き継ぐものであり、特色ある取組を進めている大学・学部の事例を通じて、各会員大学にとって普遍的な課題である「教員の専門性・専門職性」について、あらためて問い直すことを試みました。

パネリストが勤務する3つの大学・学部は、いわゆるグッドプラクティスとして全国に周知された取組を行っていますが、それらが個別的なものではなく、大学・学部における教育研究活動の全体に明確に位置づけられている点で共通していたといえます。コーディネーター役を務めた岡山大学の尾上雅信氏と梶井一暁氏からも、それぞれの大学・学部の理念を踏まえた取組でなければ、教員の専門性・専門職性を育む教員養成教育を行うことが難しいとのまとめが行われました。

時間的な制約から、フロアの参加者からの意見を十分にお聞きすることができませんでした。しかし、幅広い視野と高度の専門的知識・技能を兼ね備えた教員の養成が、「学」としての理論的な裏付けをもって各教員養成大学・学部のカリキュラムの編成や改善・開発に反映されなければ、専門職業人としての教員の養成・輩出といった社会の発展に寄与する実践的な取組が進められないとの考えを補強する機会になったと存じます。今後も、日本教育大学協会での継続的な研究課題として、議論・追究が積み重ねられていくことを期待します。

II 分科会（12:50～16:40）

「学部段階での教員養成」「大学院段階での教員養成」「大学・学部と附属学校園の連携・協働」「へき地・小規模校教育」「教育委員会との連携・協働による現職教員の教育・研修」及び「自由課題」による6つの分科会が10会場で実施されました。発表件数は78件で、各会場ともに充実した研究発表と質疑・応答が行われました。

III ポスターセッション（12:00～15:00）

様々なテーマによる全14件の発表がありました。発表者の在席責任時間を分科会発表の休憩時間に位置付けたため、参加者全員がポスターセッションの発表を聞き、発表者と交流をもつことができました。

IV 情報交換会（17:30～19:00）

情報交換会は、岡山ロイヤルホテルにおいて、計84名が参加して行われました。岡山大学教育学部長の三村由香里氏、教員養成企画室長の高田行紀氏、日本教育大学協会副会長の丹信介氏によるご挨拶の後、楽しく有意義な語らいの場となりました。情報交換会の締めとして、次期当番大学である愛媛大学教育学部長の佐野栄氏よりご挨拶がありました。

全国から多くの皆様にご参加いただき、当番大学の岡山大学並びに研究集会実行委員一同、心より御礼申し上げます。また、会の準備、当日の運営等につきましては、スタッフ一同万全を期して臨みましたが、至らぬ点多々あったことと存じます。それでも無事に研究集会を開催できましたのは、ご参加いただいた皆様のご協力によるものです。

次年度の研修集会は、愛媛大学で開かれます。今後も、教員養成に関する教育研究の質的向上と発展を図る機会として、研究集会がますます有意義なものになっていくことを期待いたします。ありがとうございました。

令和元年度 日本教育大学協会研究集会 スケジュール

(当番大学 岡山大学)

【日時】 令和元年10月5日(土) 研究集会 9:30~16:40
情報交換会 17:30~19:00

【開催場所】 「岡山大学 教育学部講義棟」 (研究集会)
〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1 TEL 086-251-7584
<https://edu.okayama-u.ac.jp/>

「岡山ロイヤルホテル」 (情報交換会)
〒700-0028 岡山市北区絵図町2-4 TEL 086-255-1111
<http://www.orh.co.jp/>

【開催概要】

I 全体スケジュール

9:00	9:30	12:00	12:50	14:10	15:00	16:40	17:30	19:00
受付	全体会	昼食 休憩	分科会 (6分科会)	休憩	分科会 (6分科会)	移動	情報交換会	
		ポスターセッション	※1					

※1 ポスター発表者の在席責任時間は、14:10~15:00 とします。

II 全体会 (招待講演・パネルディスカッション) [9:30~12:00]

- 開会挨拶 (9:30~9:50)
 - 日本教育大学協会 会長 出口 利定 東京学芸大学長 挨拶
 - 日本教育大学協会研究集会 当番大学 榎野 博史 岡山大学長 挨拶
 - 日本教育大学協会研究集会 実行委員長 高瀬 淳 岡山大学教育学部 副学部長 挨拶
 - 日本教育大学協会研究集会 令和2年度当番大学代表 佐野 栄 愛媛大学教育学部長 挨拶
- 招待講演 (9:50~10:30)

テーマ: 「教員の養成・採用・研修の一体改革と連動した大学改革の推進について」
講師: 文部科学省総合教育政策局教育人材政策課教員養成企画室 室長 高田 行紀 氏
- パネルディスカッション (10:30~12:00)

テーマ: 「教員の専門性・専門職性を育む教員養成教育の実現に向けて」
登壇者: 玉井 康之 (北海道教育大学 教授)
石川 聡子 (大阪教育大学 教授)
田中 修二 (大分大学 教授)
コーディネーター: 尾上 雅信 (岡山大学 教授)
梶井 一暁 (岡山大学 教授)
- 連絡事項 (12:00 終了予定)

III 分科会 (研究発表) [12:50~16:40]

- 第1分科会 「学部段階での教員養成」
- 第2分科会 「大学院段階での教員養成」
- 第3分科会 「大学・学部と附属学校園の連携・協働」
- 第4分科会 「へき地・小規模校教育」
- 第5分科会 「教育委員会との連携・協働による現職教員の教育・研修」
- 第6分科会 「自由課題」

IV ポスターセッション [12:00~15:00]

テーマ: 「自由課題」

V 情報交換会 [17:30~19:00] *マイクロバスで送迎あり